

長野の林業

令和元年11月10日発行
長野の林業編集委員会

No.358

もくじ



特集	第10回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ開催……………2
トピックス……………	シイタケ生産者研修会開催……………3
	『木質バイオマス』イベント
	木質チップボイラーの取り組み……………4
	コラム 苗木生産の今……………5
お知らせ……………	狩猟解禁・狩猟免許試験ほか……………6
県森連だより……………	……………7
長野県の木材市況……………	……………8



上田市 鹿教湯の被災状況



北相木村 林道東山線の被災状況



長野市 林道笹平線の被災状況



長和町 林道ネック線の被災状況

台風19号の爪痕

令和元年10月12日から13日にかけて日本に上陸した台風19号は、その記録的な豪雨により家屋や道路、農地、河川、山林等に大きな被害をもたらしました。

災害で尊い命を奪われた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された多くの方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

「長野の林業」でも復旧に向けた取り組みを随時掲載してまいります。

災害に関する問合せ先

項目	内容	問合せ先	
治山	山腹崩壊や荒廃溪流に対して、施設整備等を行います	森林づくり推進課	026-235-7271
林道	公共林道施設の復旧に対して支援します	信州の木活用課	026-235-7268
林業木材産業	林業・木材産業関係施設の復旧に対して支援します	県産材利用推進室	026-235-7266
特用林産物	特用林産物(きのこ等)の生産施設の復旧に対して支援します	信州の木活用課	026-235-7267

第十回食用菌根性きのこに関する 国際ワークショップが開催されました

本紙十月号でもご案内した第十回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ (International Workshop on Edible Mycorrhizal Mushrooms 以下IWEMMと略す) が十月二十日のプレワークショップを皮切りに二十八日までの全九日間の日程で、諏訪市を中心に開催されました。

参加総数はプレワークショップに参加された方々を含めると二〇〇名を超え、国籍も日本を含め一九か国に及ぶ大規模なものとなりました。ここでは誌面の都合もあり、プレワークショップと本大会の概要についてご紹介いたします。

プレワークショップ 十月二十日

諏訪市文化センターを会場とし、まずIWEMM国際事務局長であるアレクシー・ゲレン・ラゲット博士からはトリュフ栽培の着手から実際の子実体発生までに七年かかった研究の内容、また近年は日本においても新種のトリュフが発見され、栽培技術開発が始まった話が紹介されました。つづいて開催地を代表して諏訪まつたけ生産振興会の金井隆副会長からは手入れがされず荒れていたアカマツ林を整備した結果、十年程度で安定的なマツタケの収穫が得られるようになった施業技術に関する講演がありました。午後にはきのこを題材としたドキュメンタリー映画監督お二人(トリスタン・ストック氏、マリオン・ノイマン氏)による短編映画が二本上映され、きのこ森林の関連、そしてきのこの会話をイメージした映画など我々には思いつかない発想の興味深い映画が上映されました。

最後には演者等によるパネルディスカッションが開かれ、国、文化の差異によるきのこ中毒の有無の話や、海外からは金井氏の発表

に対して具体的な施業方法等かなり熱心な質問があり、整備の結果マツタケの発生に至っている点などについて賞賛の声が聞かれました。

本大会 十月二十一日から二十三日

二十一日から本大会が始まり、オープニングセレモニーでは井出英治林務部長、金子ゆかり諏訪市長らが英語によるスピーチで長野県及び諏訪市への歓迎の祝辞を述べ、三日間にわたる研究討論が始まりました。長野県からは林業総合センターの古川仁特産部長による「三十八年間の調査データによる豊丘村試験地でのマツタケ生産の施業効果と気象条件の関連」、同片桐一弘主任研究員による「カラマツ林の施業によるハナイグチ栽培」が発表され、海外の参加者から施業効果による増産の実証に関して質問が相次ぎ、国際事務局長からは同様なデータ収集を世界的に実施することのできるこの生態に関する説明が図られるとのアドバイスもありました。

今回の大会を通じた感想として、海外研究者の多くは日本での森林整備によるきのこ生産にかなり関心を示し、またその技術の確実性に興味関心を示していることが伺えました。



豊丘村試験地について解説する古川特産部長



フィンランドの研究者と討論する片桐主任研究員

ワークショップ実行委員会



令和元年度シイタケ生産者研修会を開催しました

令和元年十月十日(木)に長野県林業総合センターにて、きのこに関する技術の習得と情報交換等を目的として、シイタケ生産者と里山整備利用地域の関係者が集い研修会を開催しました。



講師 水上平八郎氏

内容に加え、自然と戯れながら里山の生活を楽しむ様子が伝わる楽しい講義でした。

続く講義は林業総合センター特産部の加藤健一林業専門技術員による「里山を利用したきのこ栽培について」でした。マツタケやホンシメジ、ハナイグチの増殖技術といった長野県のきのこ研究の一端が垣間見える話から、直売所におけるきのこの販売傾向などすぐに役立つ情報も提供していただきました。最後に信州の木活用課の高橋林業技術専門員から統計調査を使って最近のシイタケ生産の傾向や、里山資源利活用推進事業などきのこ生産に活用できる制度の紹介などがありました。

講義の後に全員が参加した意見交換会では、講師に対し参加者からシイタケ生産者ならではの専門的な質問が飛び交う一方、シイタケ生産の初心者である里山整備利用地域の関係者から熱意のある前向きな質問や意見が交わされ、今後の参加者の益々の活躍が期待される研修会となりました。

研修会の前半は3人の講師による講義

で、後半は参加者が全員参加する意見交換会でした。最初の講義は、「原木シイタケ生産を通してみる里山の生活」と題し、長野県特用林産振興会のきのこ部会長である水上平八郎氏が講義されました。シイタケ生産の名人として有名な水上氏の講義は、原木の素質、水・温度管理など蓄積したデータに裏打ちされた実践的な



意見交換会の様子

【長野県特用林産振興会】

信州の冬を「木質バイオマス」で

暖かくしてみませんか？

「森とつながるエネルギー 薪ストーブ&ペレットストーブ大集合！」を開催します

薪や木質ペレットなどの木質バイオマスを、身近なエネルギーとして多くの方に利用していただくため、薪ストーブやペレットストーブの展示イベントを開催します。ストーブを使った料理実演(試食無料)や薪割り体験、アウトドアでも大活躍のロケットストーブの製作実演など、体験できる催しが満載です。

「炎」を見ながらおいしい料理を堪能して、ストーブのある暮らしを体感してみませんか？

入場無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

【日時】 令和元年11月17日(日) 10時から15時まで

【会場】 長野市南千歳公園

(長野県長野市南千歳1丁目10-4)

※お車でお越しの際は最寄りの有料駐車場を

ご利用ください。

【主催】 自然エネルギー信州ネット

【共催】 長野県



木質バイオマスを利用することは、森林資源を有効活用することにつながり、森林の整備・保全、地域の活性化を実現します。

【県産材利用推進室】



松本地域における木質チップボイラーの 取り組みについて

最近木質バイオマスのエネルギー利用が盛んになっていく中で松本地域において、本格的な木質チップを利用したバイオマスボイラーの稼働が今春より始まりました。設置場所は松本市波田の高地乗鞍地域への入口となる国道一五八号線沿いにある『竜島温泉せせらぎの湯』です。この施設にバイオマスボイラーが導入された経緯は、施設の所有者である松本市が平成二十八年度に策定した『松



5月25日のお披露目式の様子

本市再生可能エネルギー地産地消推進計画』に基づき、従来の化石燃料の利用を木質チップで代替することを目的として設置されたものです。この事業では二酸化炭素の排出削減、安定した燃料価格での経営安定化、地域で製造した燃料の使用による地域産業の活性化という効果が期待されています。しかし、松本市がこの計画を立案する際のハードルの一つとなったのが、当時中信地域には木質チップの製造販売業者が存在しない

ということでした。そこで、この地域の林業事業者などが集まって木質燃料の製造と供給を担う『松本平森林エネルギー(株)』を立ち上げ、需給体制が整うこととなりました。但し今回のボイラーは、出力が一五〇キロワットで年間のチップ消費量が約一八〇トンにとどまるため新会社においては新たな設備投資をすることは難しく、メンバーの持つ設備で作業を分担して事業を行うこととなっています。またこの地域においては大型バイオマス発電所の稼働も計画されており、木質バイオマスの利用が活発になると予想されていますが、ボイラーによる熱利用では固定価格買取制度(FIT)にとられないので、これまで利用されにくかった支障木や松くい被害材の有効活用も進むと考えられています。今回動き出したこれらの活動はまだ規模が小さいですが、これをきっかけに官民を問わず木質バイオマス利用への取り組みが進むことを期待します。



森林組合でのチップ製造

松本平森林エネルギー(株)

電話 0263・88・3103

FAX 0263・87・7234



コラム 苗木を知ろう！ (第2回)

長野県の山行苗木の需要は平成三十年産で九十二万本となっております。この数年、需要が増加しています。そのうち三十五%にコンテナ苗木が活用されています。また、主要な樹種については、特定母樹(特に優れた成長特性等を持った母樹)や花粉症対策品種などによる苗木の生産に向け、採種園の整備を進めているところです。

苗木のうち、スギ・ヒノキ・アカマツ・クロマツについては「配布区域」というものが林業種苗法で定められています。気候などの自然条件が似た区域で苗木が育成・配布されることにより、造林地が雪害や低温などの被害をうけるリスクを軽減するためです。県内の苗木が手配できず、やむを得ず県外から購入して植栽を行う場合は配布区域に留意してください。

ところで、山行苗木の生産には二〜三年の期間が必要です。一部地域では主伐・再造林に取り組み始めていることもあり、特にカラマツ苗木の需要が増加してきています。

県では造林計画の遂行と造林用苗木の円滑な需給を図るため、生産状況と使用見込みを調査して需給調整を行っています。造林予定面積が把握しにくい状況にあります。

事業者の皆さんには需給計画書を提出していただいておりますが、翌年に植栽面積の大きな増加などがある場合には、苗木使用見込みについて地域振興局等への情報提供をお願いします。

【森林づくり推進課】

平成30年度産 山行苗木の需給状況(千本)

樹種	需給本数	うちコンテナ苗	全体割合
スギ	15	9	2%
ヒノキ	162	91	18%
アカマツ	18		2%
カラマツ	612	217	66%
その他針	3		1%未満
その他広	112		12%
計	922	320	100%

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

地産池消のエネルギー

- 間伐材・道路支障木解体木材
- 原料木(根株・枝条・廃木材等)
- 用途に応じたサイズに破碎(0~50mm)

●バイオマス発電用燃料
●吹付用基盤材(長野県特肥309号)

一般廃棄物処分業許可:長野市50006号

電子マネー対応 ISO 140001:2004

宮澤木材産業株式会社

環境事業部 木材リサイクルセンター

TEL.239-3260

長野市中曾根3646-1 FAX.239-3252
受付時間: 8:00~17:00 定休日/日・祝祭日
本社/長野市中曾根2188-5 TEL.239-0588

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail kankyout2@mwwi.co.jp

11・12月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売り
11月16日(土) 納市 12月14日(土)	11月19日(火) 納市 12月17日(火)	11月26日(火) 納市 12月18日(水)	納市 12月3日(火) 入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木管地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所: 長野県木曾郡上松町荻原字中島 1431-1
やぶ原土場: 長野県木曾郡木祖村荻原 844-1
坂下事務所: 岐阜県中津川市坂下 133-1

☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘
本部事務所: 長野県木曾郡上松町正島町 2-45
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324



十一月十五日から狩猟が解禁になります

1 狩猟解禁日

令和元年十一月十五日(金)

(銃猟については、暦の日の出時刻をもって解禁)

2 狩猟期間

令和元年十一月十五日から令和二年二月十五日まで

但し、ニホンジカとイノシシのわな猟に限り令和二年三月十五日まで期間を延長します。

3 狩猟場所

県内全域の一般猟区

(鳥獣保護区、休猟区に指定されていない狩猟可能の場所全て)

4 くくりわなの直径規制解除

ニホンジカとイノシシの捕獲を促進するため、十二cm以下に規制されているくくりわなの直径(短径)が次の期間に限り規制解除されます。

※規制解除期間

令和元年十二月十五日から

令和二年三月十五日まで

5 一日あたりのニホンジカ捕獲数

以下の表のとおりでお願いします。

6 豚コレラ拡散防止対策について

今年度長野県では、豚コレラ衛生対策講習会を開催し、狩猟者の皆様に、豚コレラウイルス拡散防止対策へのご協力をお願いします。狩猟を行う際には、車両や長靴などの消毒等の徹底をお願いします。

地域	関東山地ユニット	八ヶ岳ユニット	南アルプスユニット	その他のユニット
一日の捕獲数	オス1頭(わな猟に限り制限なし)、メス制限なし ※H29年度から国の捕獲数の制限はなくなっていますが、狩猟期間中のメスの捕獲促進のためお願いしています。			オス、メスともに制限なし

狩猟免許の種類

免許の種類	使用できる猟具	受験可能年齢
網猟免許	網を使用した狩猟	満18歳以上
わな猟免許	わなを使用した狩猟	満18歳以上
第一種銃猟免許	装薬銃を使用した狩猟	満20歳以上
第二種銃猟免許	空気銃を使用した狩猟	満20歳以上

※ 年齢は受験日当日の年齢

狩猟免許試験日程

区分	年月日	会場
第4回	令和2年2月22日(土)	佐久合同庁舎 諏訪合同庁舎 飯田合同庁舎 長野合同庁舎

初心者狩猟免許試験講習会日程

区分	年月日	会場
第4回試験受験者対象	令和2年2月13日(木)	佐久合同庁舎
	令和2年2月15日(土)	飯田合同庁舎
	令和2年2月16日(日)	諏訪合同庁舎 長野合同庁舎

●試験日程
令和二年二月二十二日(土) (会場は左の日程表を参照)

●講習会日程
左の日程表をご確認ください。

●試験・講習会受付期間
令和二年一月二十日(月)～一月三十一日(金)まで

本年度最終となる第4回目の狩猟免許試験を実施します。また、試験内容に即した初心者狩猟免許試験講習会を開催します。長野県内に住所があり、狩猟免許を取得したいとお考えの方や、種別の異なる狩猟免許を取得したい方は、ぜひ受験してください。狩猟免許は、趣味としての楽しみのほか、有害鳥獣の捕獲等、地域に貢献する有意義な資格です。受験・受講を希望される方は、お近くの地域振興局林務課へお申込みください。

【鳥獣対策・ジビエ振興室】

第4回 狩猟免許試験・初心者 狩猟免許試験講習会のお知らせ

令和元年度 森林組合監事研修会開催

令和元年10月4日、塩尻市総合文化センターにて、令和元年度森林組合監事研修会(主催…長野県森林組合連合会)を開催いたしました。この研修会は、今年度新たに森林組合の監事に就任した方を対象に、監事が行う監事監査の基本を習得していただくことを目的として毎年開催しています。今年度は12の森林組合から29名の方が研修に参加されました。

研修会ではまず、長野県森林組合連合会の高田幸生専務理事から、森林組合を取り巻く情勢について説明がありました。

その後、指導利用課の牛島俊平係長(森林組合監査士)による「監事監査の基礎」、「業務監査」、「会計監査」の研修が行われました。最後に、長野県林務部信州の木活用課の松尾誠担当係長から、森林組合常例検査の概要と森林組合系統の最近の不適正事案について紹介をいただきました。

一日という限られた時間の中で、盛りだくさんの内容でしたが、この研修会で得た知識を今後の組合監査の実務に生かしていただければと思います。



牛島係長による研修

令和元年度 全国森林組合代表者大会

令和元年10月17日、ホテルメルパルク東京(東京都)で、令和元年度全国森林組合代表者大会(主催…全国森林組合連合会)が開催されました。今回は、直前に台風19号による甚大な災害が発生した中で、取り止めも検討されましたが、系統一丸となって災害からの復旧に全力を尽くす旨の緊急決議を行い、森林整備を通じて国土の強靱化に取り組むことを確認しました。

大会では、来賓あいさつに続き、系統の発展に功績のあった団体や個人及び功労者等に対して、林野庁長官表彰及び全国森林組合連合会会長表彰が行われました。長野

県からは、組合職員6名、現場技者11名が受賞しました。

表彰のあと、意見表明として、「森林経営管理制度による森林資源の適切な管理・利用の推進について」と題して、鹿児島県森林組合連合会代表理事専務野村輝明氏が、同連合会で設立した、森林経営管理制度の市町村サポートセンターを紹介し、新たな森林管理システムの円滑な運用を呼びかけました。次に、「就労環境改善を通じた担い手の確保・育成について」と題して、鳥取県東部森林組合代表理事組合長嶋沢和幸氏が、同組合で実現している人事評価制度や夏季の就労時間の短縮、有給消化率アップや育児休暇・介護休暇の積極的な取得の取り組みを、職員収入等と併せて紹介し、就労環境改善を呼びかけました。



表彰式の様子

令和元年度 長野県森林組合交流会開催

令和元年10月29〜30日、下伊那郡根羽村で、令和元年度長野県森林組合交流会(主催…長野県森林組合長会)が開催されました。初日はまず、根羽村森林組合の大久保組合長が「源流の資源を生かした地域づくり」と題して講演を行った後、役場新庁舎及び高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」の見学を行いました。いづれも根羽村産のスギやヒノキをふんだんに使用しています。机やカウンター、備品等にも地元産材を活用しており、施設そのものが、木材の魅力発信に大きな役割を果たしています。

二日目の会議は、会場を満蒙開拓平和記念館(阿智村)に移し、各森林組合で抱えている課題を共有し、系統一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

続いて、「暮らしとともにある地域材」と題して、新井建築工房+設計同人NEXT代表新井優氏による講演が行われました。

長野県森林組合長会では、本交流会での情報共有を踏まえ、森林整備の円滑な実施に向けて、県への要望活動等を行ってまいります。

長野県の木材市況

第1030回 市況表

(令和元年10月18日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	12,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	15,000	14,000	
		直	24~30	15,000	10,000	
ひのき	4.0	直	14~16	12,000	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	12,000	
		直	24~28	16,000	12,000	
すざ	3.0	直	16	10,000	8,000	4m (φ24cm~φ36cm) 直材限り需要あり。
		直	18~22	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
もみ	4.0	直	18上	10,000	7,000	安定的な需要あり。
げやき	3.0	直	54	41,000		良材に限り需要あり。
なら	4.0	込	30上	13,000	9,500	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~24	26,000	14,000	
あがまつ	4.0	直	26上	10,000	7,000	冬季に期待。
からまつ	4.0	込	18上	14,000	10,500	価格安定。出品願います。

出品量 1,449㎡ 販売量 1,449㎡ 落札率 100% 買い方 27社

このたびの台風で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。今回の市売りでは、ひのき材に応札活発で、価格も安定してきました。広葉樹に関しても良材には高値がつかます。からまつ材、不足しています。需要ありますので出品よろしくお願致します。11月19日(火)には当センターの周年記念市を行います。太物、良材の伐採予定の方は出品よろしくお願致します。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願致します。

第1032回 市況表

(令和元年10月17日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
		直	30上	20,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格安定。
		直	18~28	19,000	14,000	
		元	32~50	95,000	23,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いたします。
		直	14~18	13,000	10,000	
		直	20上	16,000	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
あがまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	秋需要に期待。
		込	24~34	20,000	8,000	
くり	4.0~7.0	込	20~48	45,000	13,000	応札活発。
ほお	3.0~4.0	込	18~34	20,000	12,000	
くらみ	4.0	込	20~42	23,000	12,000	
なら	4.0	込	18~34	13,000	10,000	
さくら	2.0~4.0	込	26~50	28,000	12,000	

出品量 3,445㎡ 販売量 2,313㎡ 落札率 67% 買い方 26社

先週の台風19号で被災されました皆様にセンター職員一同お見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。今回も広葉樹中心の市売りとなり応札活発な市となりました。引き続きご出品下さい。11月18日(月)には開設記念市を予定しております。ご協力お願いいたします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

~北信木材センターご利用の皆様へ~ 開設61周年記念市の日程変更のお知らせ

日頃より北信木材センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、この度、台風19号により千曲川の堤防が決壊し、当木材センターも被災いたしました。これに伴い、10月に予定していた「開設61周年記念市」の開催を、11月14日(木)に変更させていただきます。

当木材センターのご利用者を始め関係者の皆様方には、多大なるご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、この度の被害に際しましては、多くの皆様から、場内及び事務所内の復旧作業の御協力や、御見舞、激励を頂戴し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

職員一同、早期の復旧に全力を尽くして参りますので、今後とも、更なるご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

長野県森林組合連合会
北信木材センター所長 小池 淳

第516回 木材共販市況表

(令和元年10月17日実施)



出品量 900㎡・買い方 13社・落札率 95.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 円	平均値 円	平均石値 円	備考
ひのき	3.0	元直	26~36	22,000	14,000	3,920	
		直	14	9,000	8,000	2,240	
		元直	16	11,000	9,000	2,520	
		込	18~24	17,500	16,500	4,620	
		込	26~28	16,500	15,500	4,340	
		込	30上	16,000	15,000	4,200	
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	16,000	15,000	4,200	
		元	16~22	18,500	17,000	4,760	
すざ	4.0	中直	12~14	12,000	8,000	2,240	一本単価
		込	16~22	15,500	15,000	4,200	
		込	24~28	17,500	15,000	4,200	
さくら	3.0	込	12下	360	300		一本単価
		込	16~18	9,500	8,000	2,240	
		込	20~22	11,500	9,500	2,660	
		込	24~28	13,500	11,000	3,080	
		込	30上	17,000	14,500	4,060	
からまつ	4.0	込	14~22	7,500	5,500	1,540	一本単価
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
くり	4.0	込	16	8,500	6,000	1,680	一本単価
		込	18~28	13,000	11,500	3,220	
		直	30上	13,500	12,000	3,360	
		直	14~30	5,000	4,000	1,120	
くり	5.0	直	12下	320	270		一本単価
		直	24~30	25,500	21,500	6,020	
総評							

ひのき、出荷及び良材少なく価格伸びず。すざ、引き合いはあるが、出荷量やや増え、価格はやや上昇。からまつ引き合いあり、価格は横ばい。広葉樹出荷あり、良材にやや高値あり。引き続き出荷の協力をお願いいたします。